



林野庁図書館ニュース

発行：林野図書館資料館

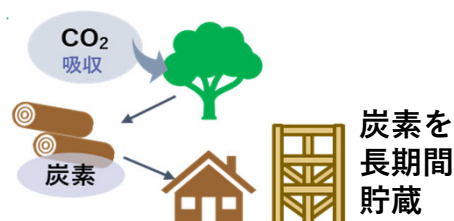
TEL：03-3501-0964

トピック 「森の国・木の街」づくり宣言への参画を募集中

- ・ 林野庁において、豊かな森林資源を背景とした「森の国」らしい国づくりに向け、全国で街の木造化を進める「森の国・木の街」づくりの取組を開始しました。
- ・ この推進に当たり、環境省と連携し、温室効果ガス排出量を算定・報告・公表する仕組み（SHK制度）に、木材利用による炭素貯蔵効果を位置付ける方向性をとりまとめました。
- ・ これを契機に、令和7年10月から、建築物の木造化などの木材利用や、木材利用の効果の見える化に取り組むことを宣言する「『森の国・木の街』づくり宣言」の募集を開始しました。
- ・ 募集開始1週間で70以上の企業や自治体等が宣言に参画しています。今後も、宣言の輪を広げ、持続可能な社会の実現に向けた街の木造化の取組を、全国に広めていきたいと考えています。

SHK制度への位置づけ

令和8年度以降、SHK制度において、企業等は、自らの温室効果ガス排出量から、木材利用による炭素貯蔵量を差し引いて報告することが可能となります。



「森の国・木の街」づくり宣言



我が国の豊かな森林の恵みを未来へしっかりとつなぐためには、「植えて、育てる」ことに加え、「使う」ことが不可欠です。私たちは、森林の整備に繋がる木材の活用を通じて地球温暖化の防止に貢献するとともに、木とともに生きる地域の未来を育む「森の国・木の街」づくりに取り組むことをここに宣言します。

- ✓ 建築物の木造化などを積極的に推進し、木材利用を通じて地域の持続可能な発展に貢献します。
- ✓ 木材利用の促進に当たっては、SHK制度(温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度)などを積極的に活用し、地域の関係者と連携して、木材利用の効果を“見える化”していきます。



募集期間：令和7年10月1日～令和8年3月31日

宣言のメリット

- ◎ 宣言に参画いただいた自治体・企業・団体の皆様を林野庁のウェブサイトで公表
- ◎ 林野庁から、建築物の木造化などの木材利用や、木材利用の効果の見える化などに関連する情報を提供
- ◎ 環境意識の高い自治体・企業等として社会的評価の向上につながる事が期待

宣言及び募集の詳細については、林野庁ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/rinyahp/20251001-1.html>



きぐりー

農林水産省「消費者の部屋」展示

「本の森の出かけよう～森のめぐみと白書の知識、山の仕事～」開催しました！

令和7年8月25日(月)～29日(金)「消費者の部屋」において、「本の森に出かけよう～森のめぐみと白書の知識、山の仕事」展示を開催しました。令和6年度森林・林業白書の紹介パネルとそれに関連する図書の展示、また、今回は「林業よススメ！」から高性能林業機械のパネルや関連する図書資料、そして、林業機械のミニチュア等を展示。5日間で601名に來場いただきました。

皆さま、熱心にパネルを見たり、プレカット材を手取って組んでみたりと、楽しんでいただきました。普段あまり馴染みのない森林・林業について、興味を持っていただく機会になったのではないかと思います。



もりりー

消費者の部屋ホームページ



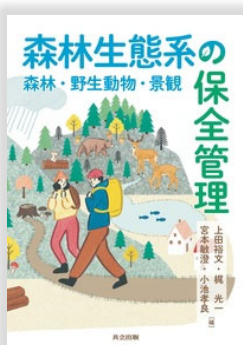


新着図書・注目図書のご案内



林野庁図書館は、林野行政・施策部門における専門図書館として、歴史的に貴重な明治・大正期の森林・林業・木材産業に関する資料から、森林環境教育等にご活用いただけそうな図鑑や絵本等まで幅広く図書資料を備えております。皆様のご利用をお待ちしております。当館の蔵書の中から、新着図書や注目図書の一部をご紹介します。

森林生態系の保全管理 森林・野生生物・景観



森林生態学の保全管理を考えると、あらゆる専門分野を統合する総合的かつ実践的な学問として森林美学がある。本書では、森林美学を「森林管理のリテラシー」と位置づけ、人間の風景認識を通じた森林の把握・評価に基づく森林の保全管理の必要性とその実践方法を論じる。

編集: 上田 裕文、梶 光一、宮本 敏澄
小池 孝良
出版社: 共立出版(2025年9月)

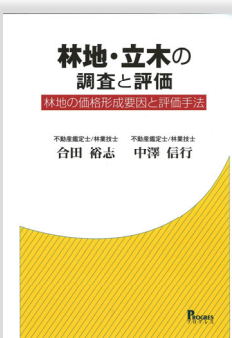
属から検索する樹木図鑑



・DNA配列に基づいた新しい分類体系を使用
・科→属→種の系統をわかりやすく追うことのできる二又式検索表の活用
・写真1枚1枚に、その大きさを示すスケールを付加
最新の研究成果を反映するとともに、直感的にその樹木の姿を把握することができるよう、工夫されています。

著者: 犀川 政稔
出版社: 学芸大学出版会(2025年6月)

林地・立木の調査と評価



林地の評価には自然や環境の規制、生態系の保護や木材の価値など、通常の不動産評価に加えて、自然の資源や法規制を考慮する必要があります。本書では「森林とは何か」という基本から、林地・立木の地域分析から個別分析、さらに林地評価の手法や林地調査の具体的な調査方法などを解説しています。

著者: 合田 裕志、中澤 信行
出版社: プロGRESS(2025年6月)

森林ビジネス



日本は、世界に誇る「木の文化」を持つ国です。建築の世界においても木は日本人と深い関わりを持ってきましたが、最近では、持続可能な地上資源として、改めて注目されています。本書では、森林大国・日本が誇る森林ビジネスの世界を、林業や木材流通、建築、まちづくり、SDGsなどの視点から解説します。

著者: 古川 大輔
出版社: クロスメディア・パブリッシング(2025年8月)

異常気象の未来予測



毎年のように猛暑・豪雨・豪雪が日本を襲い、異常気象が「普通」の時代に突入しています。現在の日本は四季がなくなり、夏と冬だけの「二季の国」となってしまったと感じている方は多いでしょう。その一因となっているのは二酸化炭素増加による地球温暖化です。無関心のままでは、この問題は解決しません。本書では異常気象や気候問題の現状と未来予測、温暖化対策について、あらゆる角度から解説します。

著者: 立花 義裕
出版社: ポプラ社(2025年7月)

きのこって なんだろう?



いつの間にか生え、いつの間にか無くなっている不思議な存在、きのこ。日本の菌類画の第一人者が、ベニテングタケを中心に、様々な所で育つ色とりどりのきのこを紹介しています。読者の「きのこ観」を「食べられるか毒か」という人間本意の一面的見方から解き放ち「かくも神秘的な存在が身の回りにいたのか」と気付かせる作品。

著者: 小林 路子
出版社: 福音館書店(2025年9月)

森林・林業まんがやイラストをご活用ください!

こどもたちに森や林業のことを伝える教材として。
さまざまなイベントでの展示やパンフレットとして。
オフィスで、お店で、ご家庭で、木材利用をお考えのみなさま。

森林や林業に興味を持っていただくきっかけづくりのひとつとして
どなたも自由にご利用いただけるコンテンツをご用意しております。
データを希望される方は、お気軽にお問い合わせください。

林野庁図書館の林業漫画・イラストは[こちら](#)



森林業循環活用図(作: 林野庁職員 平田美紗子)

連絡先: 林野庁企画課林野図書資料館(国立国会図書館支部林野庁図書館)

代表: 03-3502-8111(内線6060) 直通: 03-3501-0964

HP: <https://www.rinya.maff.go.jp/j/tosyo/index.html>

